

# 大学は行く

新しい学園像を求めて

## 奥羽大学

高度な専門知識・技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。奥羽大学(赤井市)は、福島県郡山市に、薬学部と薬学部専攻する医療系大学である。一九七七年、東北・北海道地域における唯一の薬科大学、東北薬科大学に創設。八八年に文学部、東北同様に奥羽大学に改名した。〇五年、薬学部を開設。きめ細かな指導体制と最新の医療設備の附属病院での実習が特長だ。〇九年度、薬学部は新学費制度を導入して学費を大幅に削減。一年度に薬学部は、薬学教育充実費五〇万円を廃止、入学者の学費負担を軽減するなどの改革を断行。二年の東日本大震災では、薬学部はさまざま奥羽大学検死チームをつくり、津波被害の被災地に派遣して身確認業務にあたった。建物の壁や窓ガラスに被害のあったキャンパスは、いち早く建物や施設・設備の補修を行い、福島県内の大学では最も早く授業を開始した。昨年度までいわゆる風評被害で志願者が減少したが、今年度から徐々に戻りつつある。大学の歩みとこれからを学長に聞いた。

(文中敬称略)

### 薬学部と きめ細かな指導体制

「薬学部と きめ細かな指導体制」  
 広大で緑豊かなキャンパスです。この脈を統括するは、東京八ノ四回く先人の気風を継ぐ分の広さ(二万八千一〇〇) 継ぎながら、しつかりと「あ」がある。豊かな自然、高度な専門知識と環境で落ち着いて学べ、技術を備え、かつ礼節と「あ」(開学花々)が咲き、知る術と薬剤師を乱れ、四学専攻あるが、育成し、キャンパスで学ぶのは幸せ。文部省の〇四年に募集(新生)と学生を停止し、〇五年の薬学部の評判はいい。学長の赤井大学を語った。日本は高齢化に「歴史も都山と」突入、この地域にあても、都山は、品性と礼節、老人保健医療福祉向上を重んじ、風が育れ

剤師を育成するため、競争的資金や奨学助成金などの外部資金の獲得を目指した。学費値下げ改革に伴い、「学生や保護者の経済的負担を軽減するの」がねらいです。薬学部では、全国の私立薬学部の中で最も少ない負担に合わせた。薬学部は、六年間の学費総額は全国私立薬科大学と同等の四四万四千四百円に低く抑えて

現在、薬学部は三三六八、薬学部は五五六八、合わせて九三三八の学生が学ぶ。男女比は薬学部が男性七、女性三、薬学部が男性六、女性四。学生の出身地をみると、薬学部は関東東北で半数を占め、薬学部は福島と東北が半々という。教員研究、教育面では、教育の質保証を重



「教育の高校と同窓生の元強化したい」

# 知識と技術と人間性育成

## 風評被害乗り越え学費軽減など改革断行

「風評被害乗り越え学費軽減など改革断行」  
 越え志願者回復  
 医師国家試験、大学として一度試験合格に向け、全力支援します。国すい。試験合格後は、臨床研修(二年必修)に入り、講座を八年度から地域貢献は、「公開講座」を八年度から地域民を対症開催、薬学・薬学の理解を深めるテーマで行う。〇八年度から「高大連携講座」を開催、県内や近隣の高校生と同僚職員が訪

床実習行っています。目的の外部資金の獲得を目指した。学費値下げ改革に伴い、「学生や保護者の経済的負担を軽減するの」がねらいです。薬学部では、全国の私立薬学部の中で最も少ない負担に合わせた。薬学部は、六年間の学費総額は全国私立薬科大学と同等の四四万四千四百円に低く抑えて

最先端の知見や考え方を高校生にも伝える。社会、地域貢献は療術的測定と結果、ある。一年間被ばく線量を「地域住民へ」薬学部の就職率は、〇〇%。就職は思っています。東日本大震災の際、乗客を附属病院に避難させ、乗客を支援。薬学部でも高めていきたい。話、薬学、薬学に向

「風評被害乗り越え学費軽減など改革断行」  
 越え志願者回復  
 医師国家試験、大学として一度試験合格に向け、全力支援します。国すい。試験合格後は、臨床研修(二年必修)に入り、講座を八年度から地域貢献は、「公開講座」を八年度から地域民を対症開催、薬学・薬学の理解を深めるテーマで行う。〇八年度から「高大連携講座」を開催、県内や近隣の高校生と同僚職員が訪